

外務大臣 林 芳正 殿

## G7 広島首脳コミュニケ・改ざん「仮訳」の撤回を求めます

5月21日に発表されたG7広島首脳コミュニケ<sup>\*5</sup> 26項の日本語訳の最後の部分に、札幌で4月15日と16日にかけて行われたG7気候・エネルギー・環境大臣会合共同声明71項の「ALPS処理水の放出」に関する「日本語訳」がそのまま使われております。私たちはこの仮訳は、改ざんされていると考えております。改ざんされた「日本語訳」をそのままG7広島首脳コミュニケの「仮訳 \*6」とすることは、G7首脳会合という重要な会合の共同声明が改ざんされているということになります。

G7首脳会合という重要な会合の共同声明が改ざんされているということは、日本の信用を失墜させる重大問題であり、外務大臣の責任は極めて重大です。

以下に、私たちが5月12日、環境大臣、経済産業大臣に対し「日本語訳」の改ざんを指摘した申し入れ書（アップデート済み）を引用します。

.....

環境大臣 西村明宏 殿

経済産業大臣 西村康稔 殿

### G7 環境大臣会合による汚染水海洋放出・汚染土再利用の承認を装う

#### 改ざんされた共同声明「日本語訳」を撤回し、

#### 汚染水海洋放出・汚染土再利用を直ちに停止するよう申し入れます

4月15・16日に札幌で行われたG7気候・エネルギー・環境大臣会合終了後の記者会見で「(西村康稔経産大臣は)『処理水の海洋放出を含む廃炉の着実な進展、そして、科学的根拠に基づく我が国の透明性のある取り組みが歓迎される』と説明。隣で聞いていたドイツのレムケ環境・原子力安全相は『原発事故後、東電や日本政府が努力してきたことには敬意を払う。しかし、処理水の放出を歓迎するということとはできない』と反発した。

西村氏は会見後、報道陣に『私のちょっと言い間違えで、『歓迎』に全部含めてしまった』と釈明。処理水の放出については『IAEAの独立したレビューが支持された』と訂正した」と報じられています(4月16日 朝日新聞デジタル<sup>\*1</sup>)。

ところが、環境省ウェブページで公開された4月16日付「G7気候・エネルギー・環境大臣会合コミュニケ」の日本語訳<sup>\*2</sup>の71項「福島第一原子力発電所の事故対応」の2番目の文章に、「我々は、同発電所の**廃炉及び福島**の復興に**不可欠である多核種除去システム(ALPS) 処理水の放出**が・ ・ 」と書かれています(赤字は引用者による)。

記者会見の席上で「処理水の放出を歓迎するということとはできない」と明言し西村経産大臣を公然と批判したドイツのレムケ環境・原子力安全相が同席していた会議で、「多核種除去システム(ALPS) 処理水の放出が廃炉及び福島

が合意されるはずはありません。

対応する英文<sup>\*3</sup>には、We support the IAEA's independent review to ensure that the discharge of . . . (ALPS) treated water will be conducted consistent with IAEA safety standards and international law and that it will not cause any harm to humans and the environment, which is essential for the decommissioning of the site and the reconstruction of Fukushima.と書かれています。骨組を訳すと「多核種除去システム（ALPS）で処理された水の排出が、IAEAの安全基準と国際法に準拠して実施され、人や環境に害を及ぼさないことは廃炉と福島再建に不可欠である。我々は、これを確実に保証するために、IAEAの独立した審査が行われることを支持する」ということです。「廃炉と福島再建に不可欠」と書かれているのは「ALPS処理水の排出が規則に沿って行われ、人や環境に害を及ぼさないこと」なのに、「日本語訳」では「ALPS処理水の放出が『廃炉と福島再建に不可欠』」となっているのです。こんな「間違い」は起こりようがありません。万一起きたとしても、必ず点検作業が行われるはずですから、修正されます。修正されなかったのは、意図的な「誤訳」=改ざんだからです。

改ざんはもう1箇所あります。「日本語訳」71項の最後に「我々は、オープンで透明性をもって、国際社会との緊密なコミュニケーションをとりながら進められているこれらの取組を継続するよう、日本に奨励する。」となっています。「これらの取組」とは「除去土壌の再生利用と最終処分」です。

元の英文は We encourage Japan to proceed with these ongoing initiatives in an open and transparent manner, in close communication with the international community. です。「我々は、日本が、これらの進行中の取り組みを、オープンかつ透明に、国際社会と緊密に連絡をとりながら行うよう奨励する。」が本来の訳です。例えばin an open mannerは通常、名詞以外の動詞、形容詞、副詞などを修飾する副詞句です<sup>\*4</sup>。「日本語訳」は副詞句である in an open and transparent manner, in close communication with . . . を、initiative（取組）という名詞を修飾する形容詞句として翻訳し、「除去土壌の再生利用と最終処分」が「オープンで透明性をもって、国際社会との緊密なコミュニケーションをとりながら進められている」と認められたかのように装っています。これも明らかな改ざんです。

4.16記者会見における西村経産大臣の発言は「言い間違い」ではなく「日本語訳」に沿ったものであり、「訂正」してもなお、2箇所が改ざんされています。

2日間にわたる議論の末に採択された合意文書を、勝手に改ざんして発表するとは、実に失礼極まりないことです。これでは日本政治は外国からも、国内でも、信用されません。汚染水の海洋放出や汚染土の再利用も、偽りの安全宣伝をもとに進められてきました。

汚染水・汚染土問題を担当し、G7環境大臣会合に出席された両大臣が、「日本語訳」の改ざんを認め、撤回するとともに、汚染水の海洋放出および汚染土の再利用を直ちに停止するよう、申し入れます。5月18日正午までに連絡先メールアドレスにご回答ください。

2023年5月12日

放射線被ばくを学習する会

ドルトムント独日協会,Peace Philosophy Centre,放射能ゴミ焼却を考えるふくしま連絡会,原発やめよう/つながろう関西マダム会議,京都・水と緑をまもる連絡会,平和と民主主義をめざす全国交歓会/ZENKO 関電前プロジェクト,脱原発高槻市民ネットワーク,泊原発廃炉の会・そらち,全労協退職者ユニオン,NPO 法人市民放射能監視センター(ちくりん舎),グリーン市民ネットワーク高知,Yosomono net France,福島老朽原発を考える会(フクロウの会),ECHO-ECHANGES,反原発(反原発労働者行動実行委員会),さよなら玄海原発の会・久留米,避難計画を考える滋賀の会,内部被ばくを考える市民研究会,ポレポレ佐倉,ハカルワカル広場(八王子市民放射能測定室),いしかり風力発電研究所,福井から原発を止める裁判の会,原発廃炉金属の再利用を監視する市民の会,市民立法「チェルノブイリ法日本版」をつくる郡山の会,原発の危険性を考える宝塚の会,NPO 法人エコロジー・アーキスケーブ,平和憲法を広める狛江連絡会,さっぽろ市民放射能測定所はかる・さっぽろ,I 女性会議,RHR リテラシー研究所,玄海原発反対!からつ事務所,イチモクの会 ドイツ・シュトゥットガルト,沖縄環境ネットワーク,地球救出アクション 97,今を生きる会,日本国際法律家協会,NPO 法人ふくしま 30 年プロジェクト,玄海原発プルサーマルと全基ををみんなで止める裁判の会,<ウイズアス・プロジェクト>,未来の福島こども基金,北海道のエネルギーの未来を考える 10000 人の会,新潟水俣病訴訟を支援する会,Sayonara Nukes Berlin,脱原発をめざす女たちの会・北海道,原爆被害者相談員の会,原爆胎内被爆者全国連絡会,ぶんぶんトークの会,憲法を活かす市民の会・やまぐち,ふるさとを守る高浜・おおいの会,六ヶ所村の新しい風,泊原発の廃炉をめざす会十勝連絡会,地方自治を考える市民の会,放射能から豊中の市民・子どもを守る会,原発問題を考える女性ネットワーク,厚木市民九条の会,北京 JAC(世界女性会議ロビイング・ネットワーク),宮崎の自然と未来を守る会,原発いらん!山口ネットワーク,さよなら原発品川アクション,JFOR 日本友和会,ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン,いのち・未来うべ,脱原発かわさき市民,アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム,原発と気候危機を考える狛江の会,SAYONARA Genpatsu Düsseldorf,カトリック札幌教区正義と平和協議会,さよなら原発神戸アクション,アジア女性資料センター,JAN (Japanese Against Nuclear) UK,サヨナラ原発けいじばん,上関原発用地埋立禁止住民訴訟の会,ヒバク反対キャンペーン,泊原発を再稼働させない・核ゴミをを持ち込ませない北海道連絡会,三陸の海を放射能から守る岩手の会,放射能防御プロジェクト岡山,東日本大震災被災者支援千葉西部ネット,人民の力長野協議会,熊本県・矢部同和教育研究サークル,チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西,京都脱原発原告団,ふくおか緑の党,博多湾会議,山口被爆二世の会,放射能から子どもたちを守る栗原ネットワーク,脱原発ネットワーク茨城,未来を生きるあなたへ…実行委員会,未来につなげる・東海ネット 市民放射能測定センター(C-ラボ),自由法曹団女性部,連帯労組・やまぐち,NPO フォーラム庄野,子どもの人権を考える市民の会,原発さよなら千葉,NPO 法人チェルノブイリへのかけはし,ドルトムント独日協会(ドイツ),新宿御苑への放射能汚染土持ち込みに反対する会,柏崎巻原発に反対する在京者の会,日本キリスト教団神奈川教区核問題小委員会,いしかり苺の会,原発おことわり三重の会,さよなら原発 1000 万人アクション in 岡山実行委員会,原発問題を考える埼玉の会,原水爆禁止岡山県民会議,社会民主党岡山県連合,婦人国際平和自由連盟日本支部,高木学校,埼玉西部・土と水と空気を守る会,子どもたちの未来と被ばくを考える

会,NPO 法人 新宿代々木市民測定所,(公財) 日本キリスト教婦人矯風会,金八デモ(原発反対八王子行動),福島子ども・こらっせ神奈川,泊原発を再稼働させない・核ゴミを持ち込ませない北海道連絡会,アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam),NPO 法人原発災害情報センター,日の出の森・水・命の会,虹とみどりの会,緑ふくしま,緑の党グリーンズジャパン,「たまあじさいの会」,反戦老人クラブ・京都,甲状腺被ばくの真相を明らかにする会,とみやナチュラルファーム,スイス アジサイの会/Swiss Ajisai-no-Kai, 脱原発・自然エネルギーをすすめる苫小牧の会、ベクレルフリー北海道,核ゴミ問題研究会,脱原発をめざす北電株主の会,福島原発事故被害救済九州訴訟原告団,チーム 3.11 を忘れない,日本カトリック正義と平和協議会平和のための脱核部会, 核燃サイクル阻止 1 万人訴訟原告団,水俣病溝口訴訟弁護団東京事務局,脱原発の日実行委員会,彦根・愛知・犬上原発のない社会をつくる会,原発ゼロへ・生駒の会,原発ゼロ・被災者支援奈良のつどい実行委員会,福島の子どもたちとともに・湘南の会,福島の子どもたちとともに・西湘の会,子どもの未来を守る会さくらがわ,泊原発の廃炉をめざす会釧路地域連絡会, 鎌倉平和学習会,時を見つめる会, エネルギーの未来を考える会 (福岡県福津市), 原子力規制を監視する市民の会, 熊本・原発止めたい女たちの会, 矯風会熊本グループ

(5月12日 午前10時現在 計147団体)

\*1 <https://digital.asahi.com/articles/ASR4J51RRR4JULFA004.html>

\*2 <https://www.env.go.jp/content/000127829.pdf>

\*3 <https://www.env.go.jp/content/000127828.pdf>

\*4 [英文法用語事典](#)

<https://eow.alc.co.jp/search?q=in+open+manner>

.....  
以上から、G7 広島首脳コミュニケ・「仮訳」の改ざんは明らかです。私たちの指摘にもかかわらず、まったく同じ改ざんが繰り返されています。これは単なる「誤訳」ではなく、まさに意図した改ざんであることを物語っています。

英文コミュニケでは ALPS で処理された水の排出が、規則に沿って行われ、人や環境に害を及ぼさないよう、日本に求めているのに対し、「仮訳」では ALPS 処理水の放出を「廃炉及び福島復興に不可欠」としています。国民には「不可欠」と言いつつ、国際社会に対しては要請を受け入れる振りをする二枚舌外交であり、決して許されません。外務大臣は責任を痛感し、改ざんされた「仮訳」を撤回すべきです。5月26日(金)正午までに下記の連絡先にメールでご回答ください。

5月23日

放射線被ばくを学習する会ほか 147 団体  
連絡先(略)

\*5 [https://www.g7hiroshima.go.jp/documents/pdf/Leaders\\_Communique\\_01\\_en.pdf](https://www.g7hiroshima.go.jp/documents/pdf/Leaders_Communique_01_en.pdf)

\*6 [https://www.g7hiroshima.go.jp/documents/pdf/Leaders\\_Communique\\_01\\_jp.pdf?V20230521](https://www.g7hiroshima.go.jp/documents/pdf/Leaders_Communique_01_jp.pdf?V20230521)